



2019年12月期 第3四半期
決算説明資料

2019年11月13日

株式会社ソディック

A solid green horizontal bar at the bottom of the page.

I. 2019年12月期 3Q決算概要	3
II. 2019年12月期 通期業績予想	16
(参考資料)	22

I. 2019年12月期 3Q決算概要

業績ハイライト



- ✓ 米中貿易摩擦の長期化等により、主要市場の中国を中心に放電加工機の販売台数が大幅に減少した結果、売上高は前年同期比約2割減少。
- ✓ 生産台数減少に伴う工場の稼働率低下、減価償却費等固定費の増加により、利益は前年同期を大幅に下回る結果。

(百万円)

	2018年12月期 3Q		2019年12月期 3Q		前年同期比 増減		2019年12月期 通期予想 (11/13修正)	
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	金額	利益率
売上高	62,577	-	49,707	-	△12,869	△20.6%	67,000	-
売上総利益	23,368	37.3%	16,480	33.2%	△6,887	△29.5%	-	-
営業利益	8,253	13.2%	2,746	5.5%	△5,507	△66.7%	3,400	5.1%
経常利益	8,088	12.9%	2,577	5.2%	△5,511	△68.1%	3,100	4.6%
当期純利益	5,632	9.0%	1,177	2.4%	△4,455	△79.1%	1,500	2.2%
	売上高比率		売上高比率					
設備投資額	5,552	8.9%	3,353	6.7%			4,500	6.7%
減価償却費	2,283	3.6%	2,542	5.1%			3,400	5.1%
研究開発費	3,017	4.8%	2,870	5.8%			4,200	6.3%
期中平均 為替レート	ドル	109.60 円	109.12 円	0.48円 円高	108.50 円			
	ユーロ	130.87 円	122.62 円	8.25円 円高	121.50 円			
	人民元	16.84 円	15.88 円	0.96円 円高	15.70 円			
	バーツ	3.41 円	3.49 円	0.08円 円安	3.50 円			

※参考情報 2019年9月末 為替レート ドル：107.92円 ユーロ：118.02円 人民元：15.13円 バーツ：3.53円
2018年9月末 為替レート ドル：113.57円 ユーロ：132.14円 人民元：16.50円 バーツ：3.50円

業績ハイライト（四半期別）



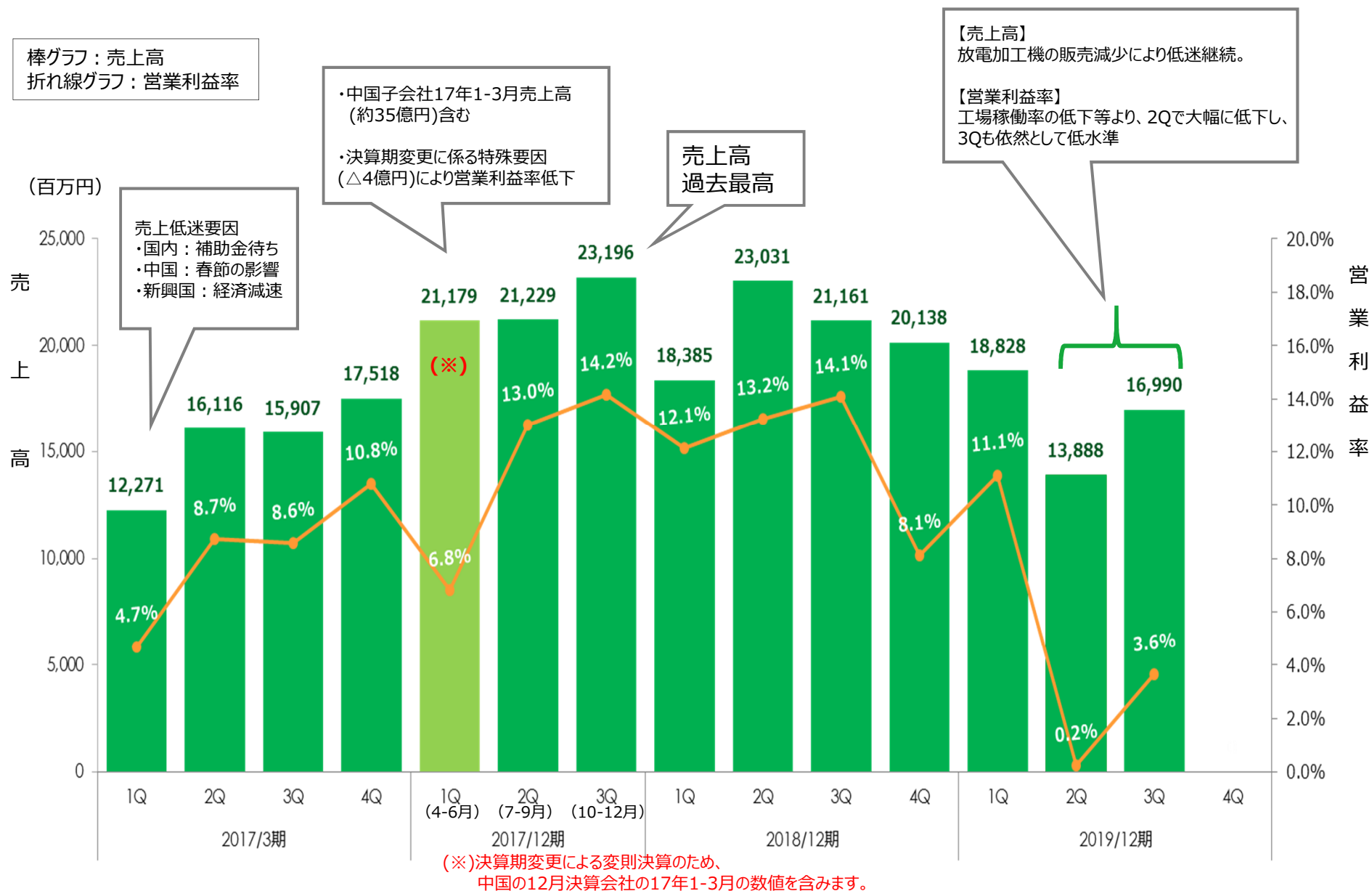
- ✓ 第3四半期は売上高は増加するも、生産台数減少に伴う工場の稼働率の低下等により売上総利益率が低下し、営業利益は増加したものの低水準。

(百万円)

	2019年12月期						前四半期比 増減	
	1Q (1-3月)	利益率	2Q (4-6月)	利益率	3Q (7-9月)	利益率	金額	率
売上高	18,828	-	13,888	-	16,990	-	3,101	22.3%
売上総利益	6,645	35.3%	4,685	33.7%	5,148	30.3%	463	9.9%
営業利益	2,093	11.1%	33	0.2%	618	3.6%	575	1738.2%
経常利益	2,168	11.5%	△94	-	503	3.0%	598	-
当期純利益	1,460	7.8%	△568	-	285	1.7%	853	-

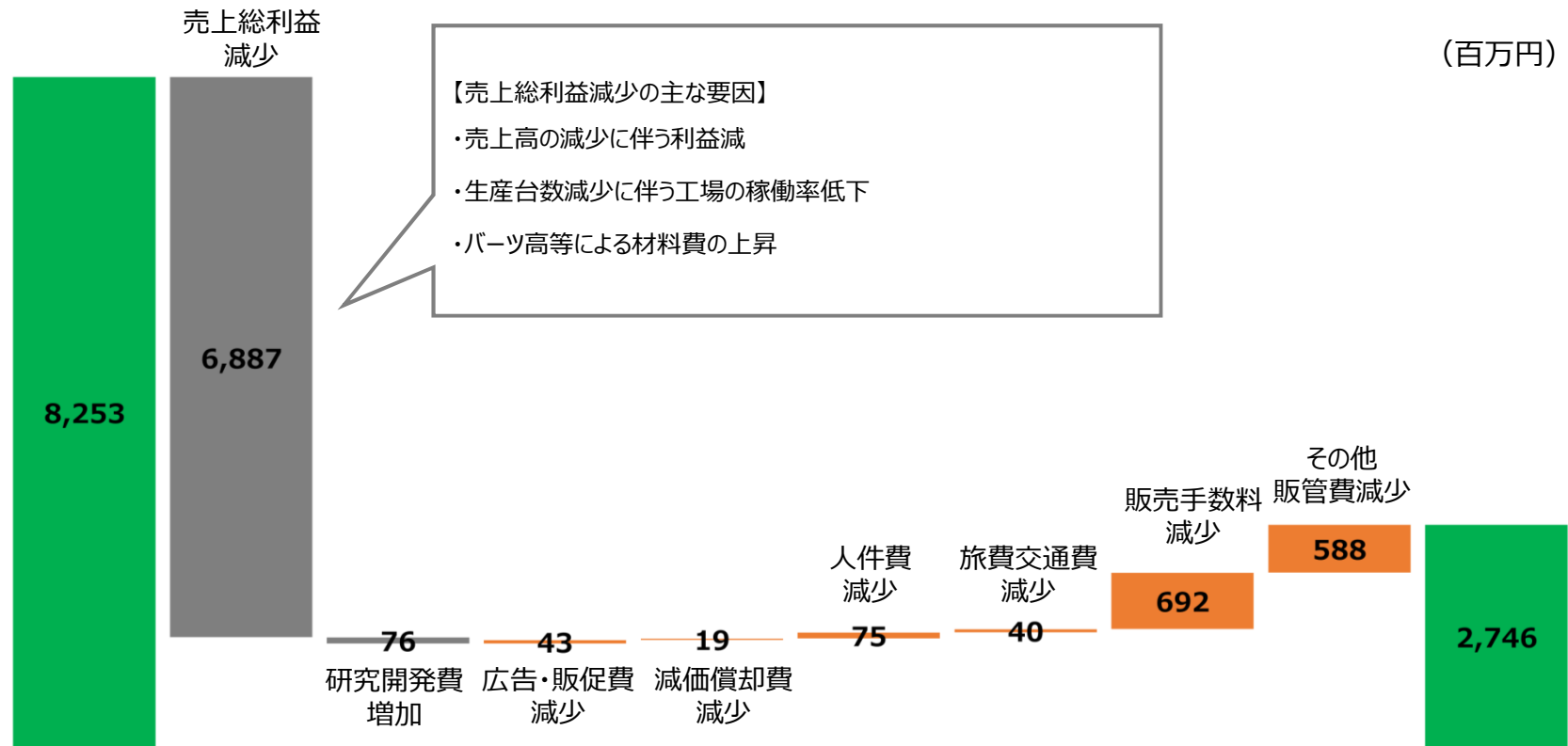
期中平均 為替レート	ドル	110.22 円		110.06 円		109.12 円	
	ユーロ	125.16 円		124.32 円		122.62 円	
	人民元	16.32 円		16.19 円		15.88 円	
	バーツ	3.49 円		3.49 円		3.49 円	

売上高・営業利益率推移（四半期毎）



営業利益増減要因

- ✓ 販売手数料の減少等により、販売管理費が減少したものの、売上高の減少等に起因する売上総利益の大幅な減少により、営業利益は前年同期と比較し、約55億円減少。



2018年12月期
3Q累計 (実績)

2019年12月期
3Q累計 (実績)

セグメント別業績



(百万円)

		2018年12月期	2019年12月期	前年同期比 増減	
		3Q 実績	3Q 実績	(額)	(率)
売上高	● 工作機械事業	45,117	34,498	△ 10,618	△23.5%
	● 産業機械事業	7,736	7,242	△ 493	△6.4%
	● 食品機械事業	4,934	3,470	△ 1,464	△29.7%
	● その他事業	4,789	4,496	△ 292	△6.1%
			62,577	49,707	△ 12,869
セグメント 利益	● 工作機械事業	8,033	3,564	△ 4,469	△55.6%
	● 産業機械事業	604	218	△ 386	△63.9%
	● 食品機械事業	618	369	△ 248	△40.2%
	● その他事業	931	236	△ 695	△74.6%
			10,189	4,389	△ 5,799
調整額・消却額等		△ 1,935	△ 1,643	292	—
営業利益 合計		8,253	2,746	△ 5,507	△66.7%

工作機械事業

【全体】

米中貿易摩擦の影響の長期化でスマホ・電子部品向けの需要減少が継続。
自動車関連も回復せず、前年同期比大幅減少。
【北米】航空宇宙・医療関係が堅調。

- ✓ 販売台数減少に伴う工場の稼働率低下、減価償却費等固定費の増加により利益は減少。

産業機械事業

- ✓ 米中貿易摩擦で設備投資鈍化が継続。
- ✓ スマホ・電子部品向けは依然一服感あり。
- ✓ 日本では自動車関連の需要、中国・アジアでは光学レンズやシリコン成形機需要、5G対応関連の投資需要あり。

食品機械事業

- ✓ 販売は前年同期と比較して伸び悩み。
- ✓ 麺の品質向上の為に製麺設備や包装米飯製造装置、自動化設備の需要は堅調を維持。

その他事業

- ✓ セラミックスは需要減少を継続。
- ✓ 精密金型成形事業は自動化対応に向けた研究開発や生産設備の増強など中長期的成長への投資が先行し、利益は減少。

セグメント別業績（四半期別）



(百万円)

	2019年12月期			前四半期比 増減		
	1Q 実績 (1-3月)	2Q 実績 (4-6月)	3Q 実績 (7-9月)	金額	率	
売上高	● 工作機械事業	13,362	10,081	11,054	972	9.6%
	● 産業機械事業	2,320	1,892	3,029	1,136	60.1%
	● 食品機械事業	1,776	568	1,125	557	98.2%
	● その他事業	1,369	1,346	1,781	434	32.3%
		18,828	13,888	16,990	3,101	22.3%
セグメント 利益	● 工作機械事業	2,191	671	701	29	4.4%
	● 産業機械事業	80	△ 83	222	305	-
	● 食品機械事業	336	△ 43	76	120	-
	● その他事業	△ 7	71	172	101	141.6%
		2,600	615	1,172	557	90.5%
調整額・消却額等	△ 507	△ 582	△ 554	27	-	
営業利益 合計	2,093	33	618	584	1738.2%	

工作機械事業

- 【中国】米中貿易摩擦の影響の長期化により依然として低調だが、2Q比では販売増加。
- 【日本】足元では設備投資の持ち直しの動きもあり、2Q比増加。
- 【欧州】自動車関連で伸び悩むも、2Qで落ち込んだ反動により3Qは微増。
- 【北米】航空宇宙・医療関係堅調だが、自動車関連弱さあり。
- 【アジア】ベトナムは自動車関連堅調だが、全体では、2Q比減少。

産業機械事業

- ✓ 米中貿易摩擦で設備投資鈍化が継続。
- ✓ スマホ・電子部品向けは依然一服感あり。
- ✓ 日本では自動車関連の需要、中国・アジアでは光学レンズやシリコン成形機需要、5G対応関連の投資需要あり。
- ✓ 受注残の消化により売上高は2Q比大幅増加。

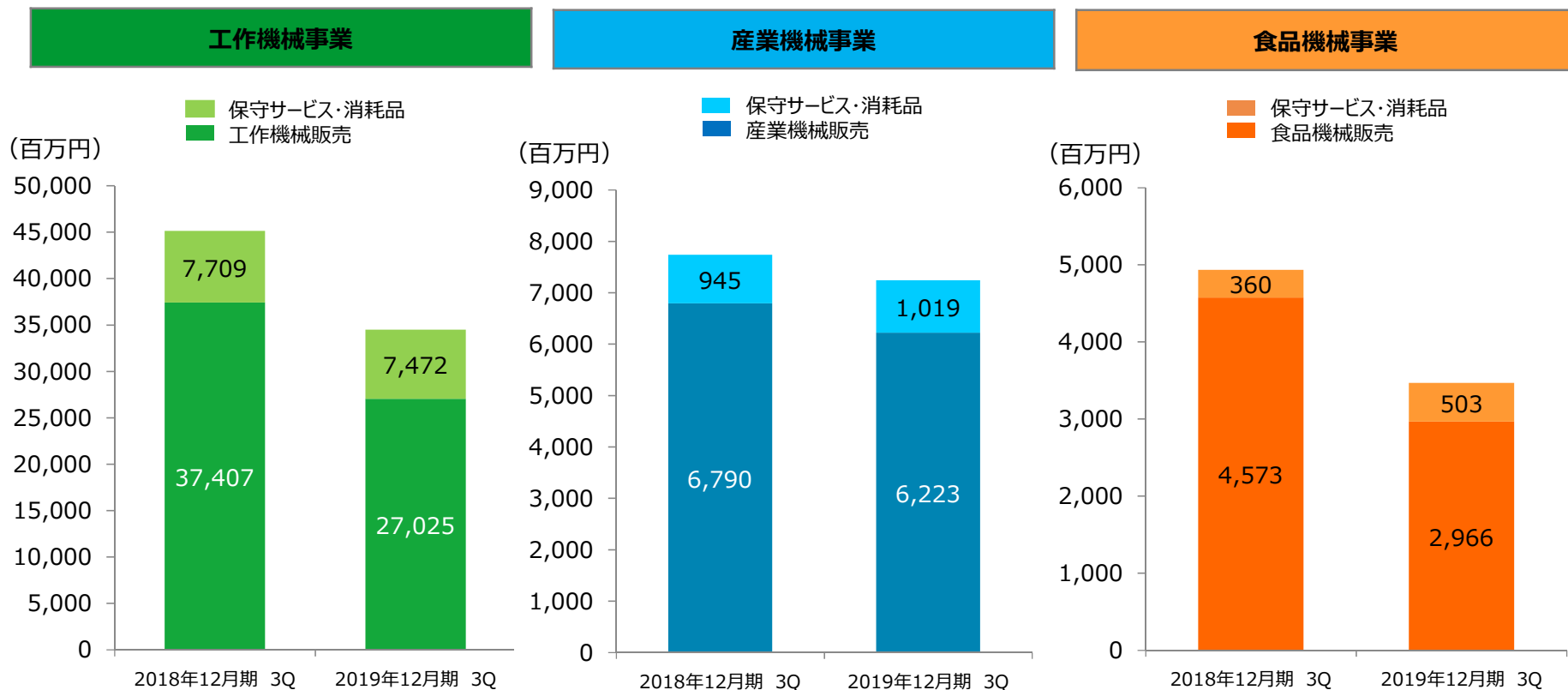
食品機械事業

- ✓ 3Qは大口の製麺設備や製麺機の販売等もあり、2Q比増加。

その他事業

- ✓ セラミックスは需要減少を継続。
- ✓ 精密金型成形事業は自動化対応に向けた研究開発や生産設備の増強など中長期的成長への投資が先行し、利益は減少。

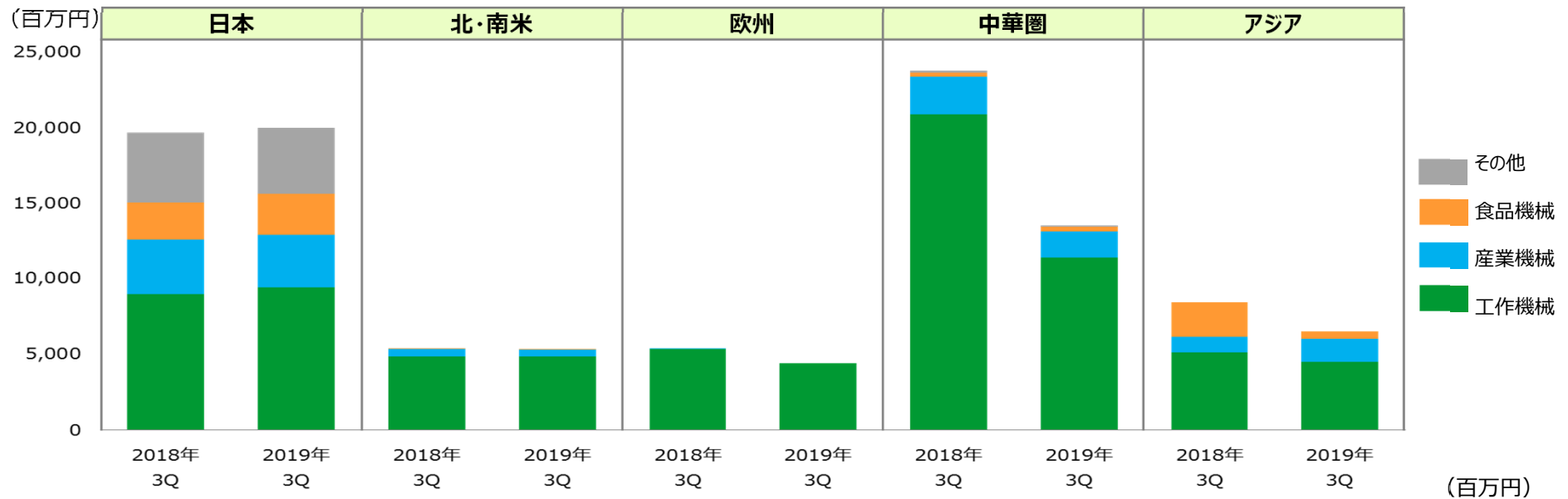
セグメント別 売上高内訳



	工作機械事業				産業機械事業				食品機械事業			
	2018年12月期 3Q		2019年12月期 3Q		2018年12月期 3Q		2019年12月期 3Q		2018年12月期 3Q		2019年12月期 3Q	
機械販売	37,407	82.9%	27,025	78.3%	6,790	87.8%	6,223	85.9%	4,573	92.7%	2,966	85.5%
保守サービス・消耗品	7,709	17.1%	7,472	21.7%	945	12.2%	1,019	14.1%	360	7.3%	503	14.5%
合計	45,117	100.0%	34,498	100.0%	7,736	100.0%	7,242	100.0%	4,934	100.0%	3,470	100.0%

事業別海外売上高比率

✓ 中国、欧州、アジアでの売上高が減少したことにより、海外売上高比率は59.8%に低下。

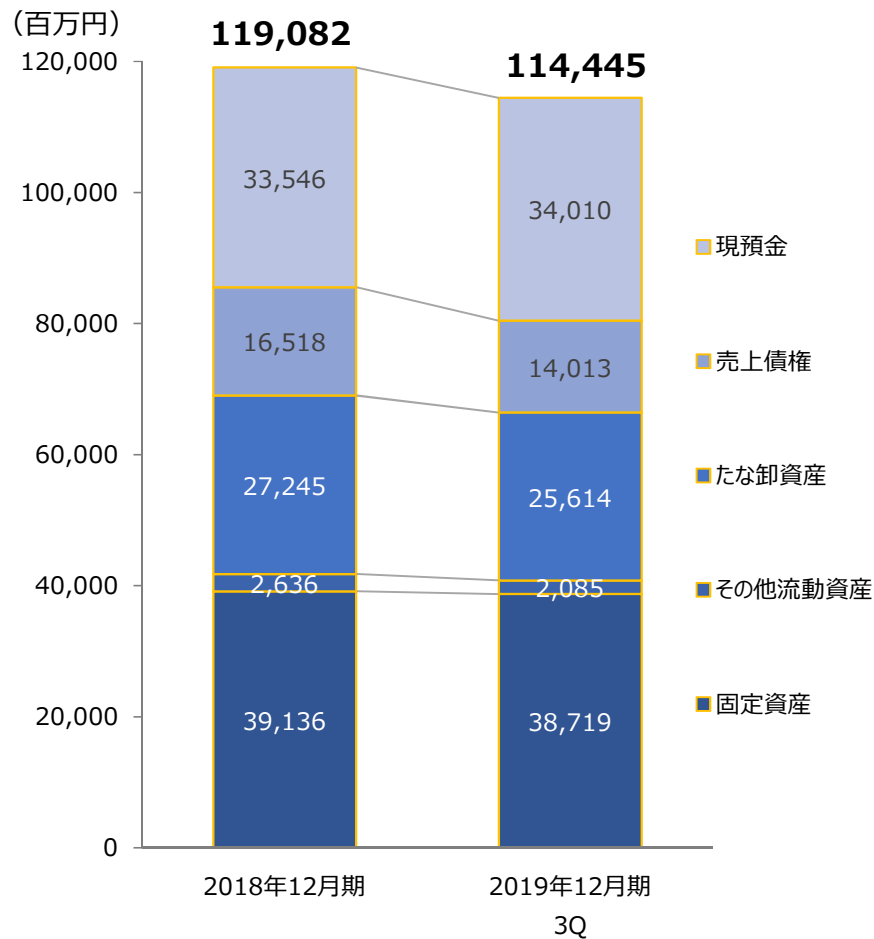


2018年12月期 3Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	8,936	19.8%	4,840	10.7%	5,351	11.9%	20,878	46.3%	5,109	11.3%	45,117	72.1%
産業機械	3,662	47.3%	493	6.4%	43	0.6%	2,498	32.3%	1,038	13.4%	7,736	12.4%
食品機械	2,420	49.1%	9	0.2%	-	-	261	5.3%	2,242	45.4%	4,934	7.9%
その他	4,652	97.1%	-	-	-	-	137	2.9%	-	-	4,789	7.7%
地域別 計	19,672	31.5%	5,343	8.5%	5,395	8.6%	23,775	38.0%	8,390	13.4%	62,577	100.0%
2019年12月期 3Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	9,408	27.3%	4,825	14.0%	4,400	12.8%	11,362	32.9%	4,501	13.0%	34,498	69.4%
産業機械	3,509	48.4%	461	6.4%	-	-	1,764	24.4%	1,506	20.8%	7,242	14.6%
食品機械	2,699	77.9%	12	0.3%	-	-	292	8.4%	465	13.4%	3,470	7.0%
その他	4,378	97.4%	-	-	-	-	118	2.6%	-	-	4,496	9.0%
地域別 計	19,995	40.2%	5,299	10.7%	4,400	8.9%	13,538	27.2%	6,473	13.0%	49,707	100.0%
為替の影響額	-		△約0.2億円		△約2.9億円		△約7.5億円		△約0.3億円		△約11億円	

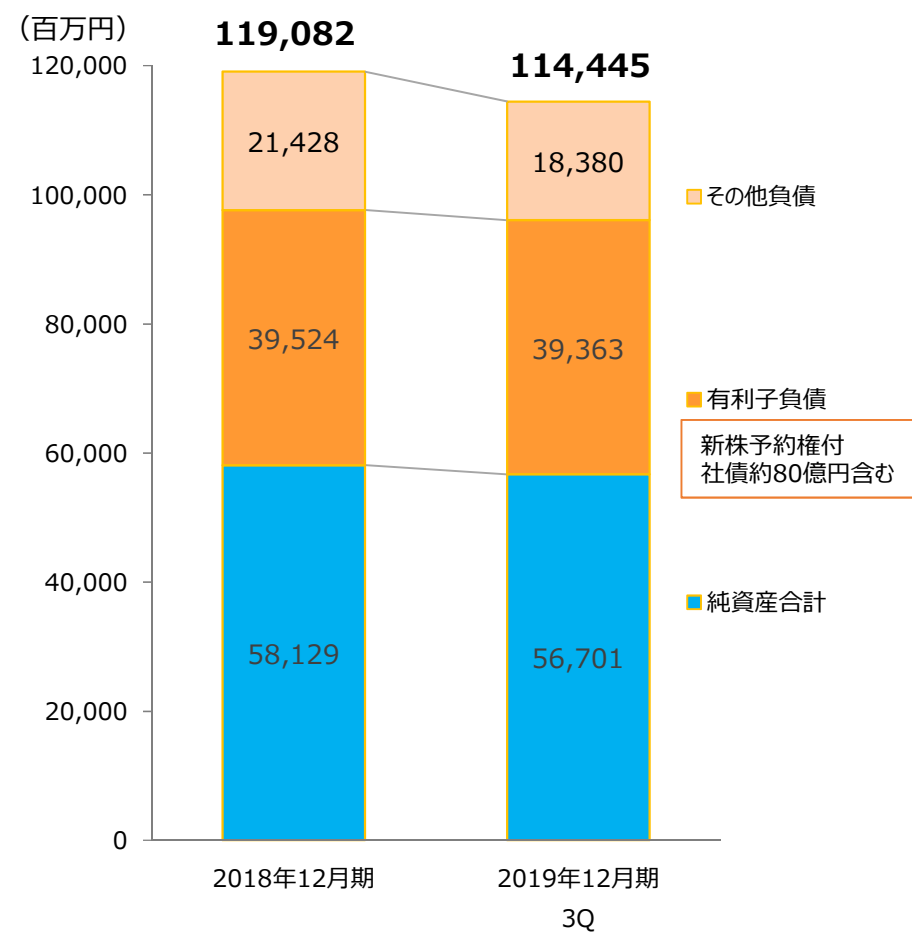
貸借対照表

- ✓ ネット有利子負債は53億52百万円（前期末比6億25百万円減少）
- ✓ 前期末に比べ円高に推移したことにより、海外子会社の資本金等の換算により生じる為替換算調整勘定が減少したこと
で純資産が約14億円減少

資産



負債・純資産



※参考情報 2019年9月末 為替レート ドル：107.92円 ユーロ：118.02円 人民元：15.13円 パーツ：3.53円
 2018年12月末 為替レート ドル：111.00円 ユーロ：127.00円 人民元：16.16円 パーツ：3.41円

1 業界初！粉粒体温度の直接管理を実現する「粉体冷却装置」を開発

小麦粉、そば粉、米といった粉粒体の原材料を迅速・均一に冷却し、製麺、製パン、製菓など、生地の品質管理の向上を実現する業界初「粉体冷却装置」を開発いたしました。なお、本製品は特許を取得しています。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : https://www.sodick.co.jp/pdf/190716093935_201907016_SodickNewsRelease_chb.pdf



▲粉体冷却装置

2 リニアモータ駆動 大型形彫り放電加工機「AG200L」の開発

リニアモータ駆動形彫り放電加工機のベストセラーである“AGシリーズ”において、ストローク最大級の大型ワーク対応高速・高性能形彫り放電加工機「AG200L」を開発いたしました。

自動車のバンパーやフロントグリル、ドアパネルなどの大物金型では、各種センシング機能搭載による自動運転や、ヘッドランプなど各モジュールの高機能化・複雑化・一体構造化、意匠デザインの高インテリジェント化への対応により、より大型で、より複雑な設計の金型構造になっています。これら大型金型を形彫り放電加工機を用いて高速で簡単に加工したいというニーズに適應しております。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : https://www.sodick.co.jp/pdf/191001061824_AG200L_Pressrelease_sodick_20190930.pdf



▲AG200L

3 FOOMA JAPAN 2019（国際食品工業展） 出展

東京ビッグサイトにて開催された国際的な食品機械の展示会「FOOMA JAPAN」に出展いたしました。国内外において「食の安全・安心」に関心が高まる中、当社が手掛ける製麺機をはじめとした最先端食品機械製品群を展示いたしました。

新製品の「粉体冷却装置」を初出展したほか、製麺工程1ラインをトータルでサポートできる点をアピールするなど、当社ブースは活況を呈しました。

【FOOMA JAPAN 2019 概要】

開催場所：東京ビッグサイト

開催期間：2019/7/9-12（4日間）

出展機種：粉体冷却装置、食品検査用LEDコンベヤ、CIPミキサ、加圧装置、トレーフィーダー等

来場者数：100,680人（うち海外 5,134人）



▲当社ブース風景

4 EMO2019（国際金属加工見本市） 出展

ドイツ・ハノーバーにて開催された世界最大級の工作機械見本市「EMO 2019」に出展いたしました。リニアモータ駆動 高速ワイヤ放電加工機「ALC400P」をはじめ、精密金属3Dプリンタ「OPM250L」や欧州では初出展となるV-LINE®搭載の電動射出成形機「MS100」など最新鋭の機種を展示いたしました。

当社ブースは、世界各国の来場者の関心を集め、多くの引き合いをいただくことが出来ました。

【EMO 2019 概要】

開催場所：ドイツ ハノーバー

開催期間：2019/9/16-21（6日間）

出展機種：ワイヤ放電加工機 ALC400P、ALC800G、精密金属3Dプリンタ OPM250L、

形彫り放電加工機 AG60L、AG80L、精密マシニングセンタ UH650L、射出成形機 MS100

来場者数：128,966人



▲当社ブース風景

5 英国「テックセンター」オープニング・セレモニー開催

欧州の中心的な営業拠点である、英国の販売子会社「Sodick Europe Ltd.」にテックセンターを新設し、オープニングセレモニーを7月10日に現地で開催いたしました。テックセンター新設により、欧州における事業展開をさらに加速させ、自動車産業をはじめ、航空宇宙・医療分野でのマーケットシェアアップを図るとともに、当地における“ソディック”ブランドのイメージ向上にも寄与するものと期待しています。

【概要】

会社名 : Sodick Europe Ltd.
住所 : Agincourt Road, Warwick, CV34 6XZ, United Kingdom
延床面積 : 約 4,180㎡
主要設備 : 放電加工機、マシニングセンタ、金属 3 D プリント、射出成形機 など
総投資額 : 8.6百万ユーロ

※詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : https://www.sodick.co.jp/pdf/190724150438_20190724_NewsRelease_SELteckcenter.pdf



▲テックセンター外観



◀セレモニー風景

6 中国・上海市に食品機械事業の販売会社を設立

中国・上海市に食品機械事業の販売会社「蘇比克富夢(上海)貿易有限公司」を7月に設立、9月より本格的に事業展開を開始いたしました。中国販社設立により、中国・ASEAN諸国への日本食文化の普及と発展を通じ、ソディックブランドの向上・社会貢献を図るとともに、同地域における食品機械事業を加速することを目的としております。営業機能に加え、エンジニアリング機能も備えることで、設計・施工・設置、メンテナンスまでをトータルでサポートいたします。

【概要】

会社名 : 蘇比克富夢(上海)貿易有限公司
住所 : 中国上海市青浦区徐涇鎮諸光路436号 (沙迪克機電(上海)有限公司内)
資本金 : 70万米ドル (7,500万円程度) ※為替レート : 1米ドル = 107円
事業内容 : 食品機械・関連設備販売、メンテナンス (搬入据付業務含む)、エンジニアリング、ソフト提供 (技術供与)、国際貿易 (輸出入)

※詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

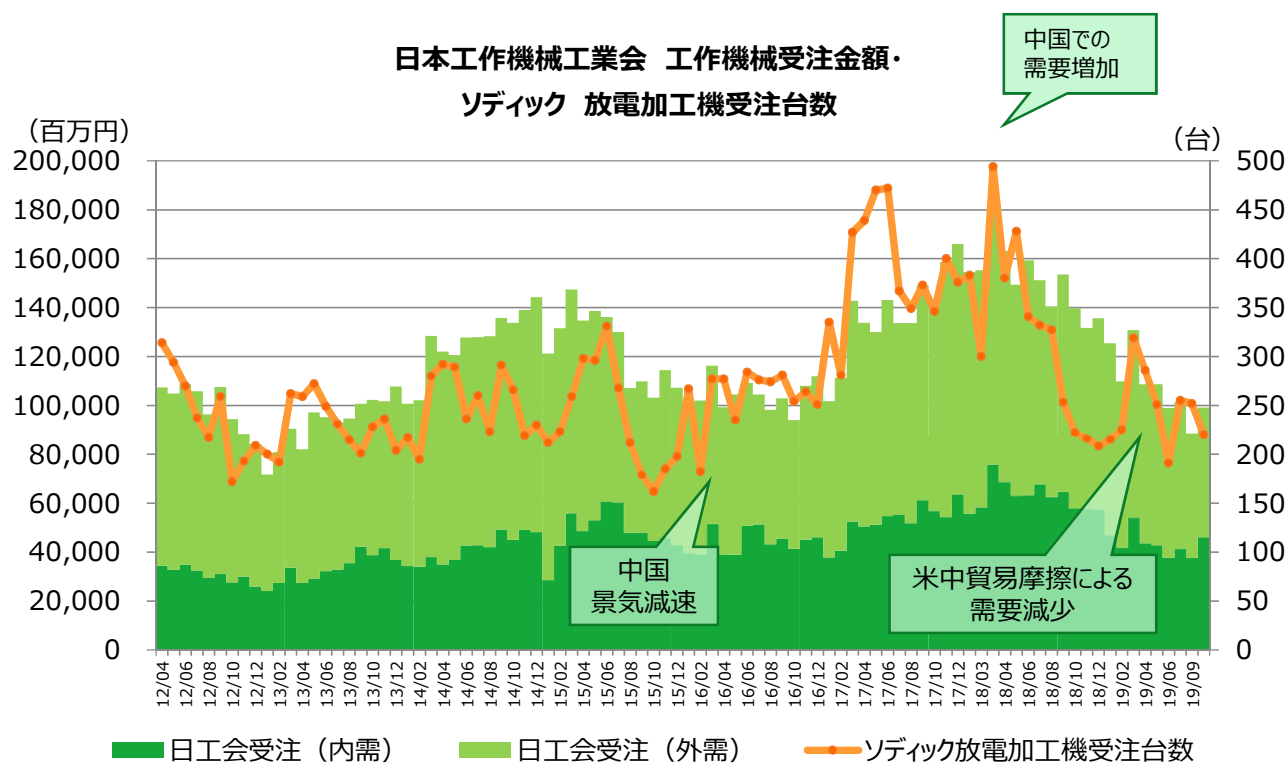
URL : https://www.sodick.co.jp/pdf/191030095937_20191030_NewsRelease_shanghai%20food%20sales.pdf



▲ソディック 自動茹麺装置 (一例)

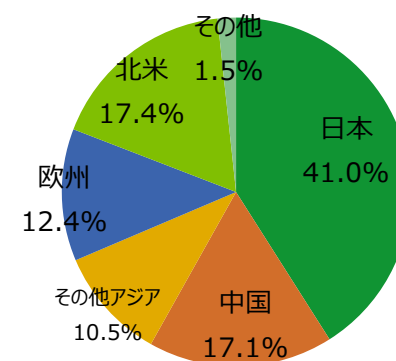
Ⅱ. 2019年12月期 通期業績予想

- ✓ 国内：米中貿易摩擦の影響で設備投資に慎重さが見られているものの、政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要は継続する見通し。
- ✓ 北米：自動車関連は減速感があるものの、航空宇宙、医療機器関連を中心に設備投資需要が増加する見通し。
- ✓ 欧州：Brexit問題の混迷など先行きに不透明感あるほか、中国景気減速の影響もあり、設備需要は減少。
- ✓ 中国：中長期的にはものづくりの高度化、人件費の高騰を背景とした自動化ニーズの高まり等もあり、自動車関連を中心に高精度な機械の需要は継続する見通しだが、足元では米中貿易摩擦などの影響が長期化。
- ✓ アジア：地域ごとに濃淡はあるが、中国の景気減速を受けて、需要の先行きには不透明感あり。



出典：日本工作機械工業会

日本工作機械工業会
工作機械 地域別受注構成比
(2019年1月-9月累計)



出典：日本工作機械工業会

2019年12月期 通期業績予想（当初予想対比）



- ✓ 売上高は工作機械事業・その他事業を中心に第3四半期の実績が前回修正予想に対して順調に進捗しており、通期では前回予想をやや上回る見込み。利益面では工場稼働率の低下による売上原価率の悪化・減価償却費等の固定費増加により、前回修正予想を下回る想定。

（百万円）

	2019年12月期 通期		2019年12月期 通期		増減	
	前回修正予想 (8/2公表)	利益率	今回修正予想 (11/13公表)	利益率	金額	増減率
売上高	66,200	-	67,000	-	800	1.2%
営業利益	3,800	5.7%	3,400	5.1%	△400	△10.5%
経常利益	3,600	5.4%	3,100	4.6%	△500	△13.9%
当期純利益	2,000	3.0%	1,500	2.2%	△500	△25.0%

		通期予想 為替レート		通期予想 為替レート			
期中平均 為替レート	ドル	107.5 円		108.50 円			
	ユーロ	122.2 円		121.50 円			
	人民元	15.9 円		15.70 円			
	バーツ	3.5 円		3.50 円			

※2019年12月期 通期業績予想を修正しております。
詳細につきましては、2019年11月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2019年12月期 通期業績予想（進捗状況）



(百万円)

	2019年12月期 3Q		2019年12月期 通期		進捗率	2018年12月期	
	実績	利益率	修正予想 (11/13公表)	利益率		実績	利益率
売上高	49,707	-	67,000	-	74.2%	82,716	-
営業利益	2,746	5.5%	3,400	5.1%	80.8%	9,888	12.0%
経常利益	2,577	5.2%	3,100	4.6%	83.1%	9,619	11.6%
当期純利益	1,177	2.4%	1,500	2.2%	78.5%	6,462	7.8%
	売上高比率		売上高比率				
設備投資額	3,353	6.7%	4,500	6.7%		8,576	10.4%
減価償却費	2,542	5.1%	3,400	5.1%		3,085	3.7%
研究開発費	2,870	5.8%	4,200	6.3%		3,902	4.7%
期中平均 為替レート	ドル	109.12 円		108.50 円		110.44 円	
	ユーロ	122.62 円		121.50 円		130.35 円	
	人民元	15.88 円		15.70 円		16.71 円	
	バーツ	3.49 円		3.50 円		3.42 円	

セグメント別 通期業績予想



(百万円)

	2019年12月期			2018年12月期 実績	
	3Q累計実績	通期予想 (11/13公表)	通期計画 進捗率		
売上高	● 工作機械事業	34,498	44,500	77.5%	58,607
	● 産業機械事業	7,242	10,100	71.7%	11,155
	● 食品機械事業	3,470	6,400	54.2%	6,560
	● その他事業	4,496	6,000	74.9%	6,392
		49,707	67,000	74.2%	82,716
セグメント利益	● 工作機械事業	3,564	4,200	84.9%	9,988
	● 産業機械事業	218	400	54.7%	802
	● 食品機械事業	369	650	56.9%	674
	● その他事業	236	350	67.6%	1,030
		4,389	5,600	78.4%	12,496
調整額	△ 1,643	△ 2,200	74.7%	△ 2,607	
営業利益 合計	2,746	3,400	80.8%	9,888	

工作機械事業

- ✓ 米中貿易摩擦等による影響が長期化しており、各地域で厳しい状況が継続する見込み。

産業機械事業

- ✓ スマホ、電子部品関連の落ち込みや米中貿易摩擦の影響もあるが、足元では、中国・アジアでは光学レンズやシリコン成形機需要、5G対応の投資関連需要あり、回復する見込み。

食品機械事業

- ✓ 製麺機や米飯装置の主要案件が4Qに集中しており、3Q時点の進捗は悪いが、通期では売上高・利益ともにほぼ計画通りに着地する見込み。

その他事業

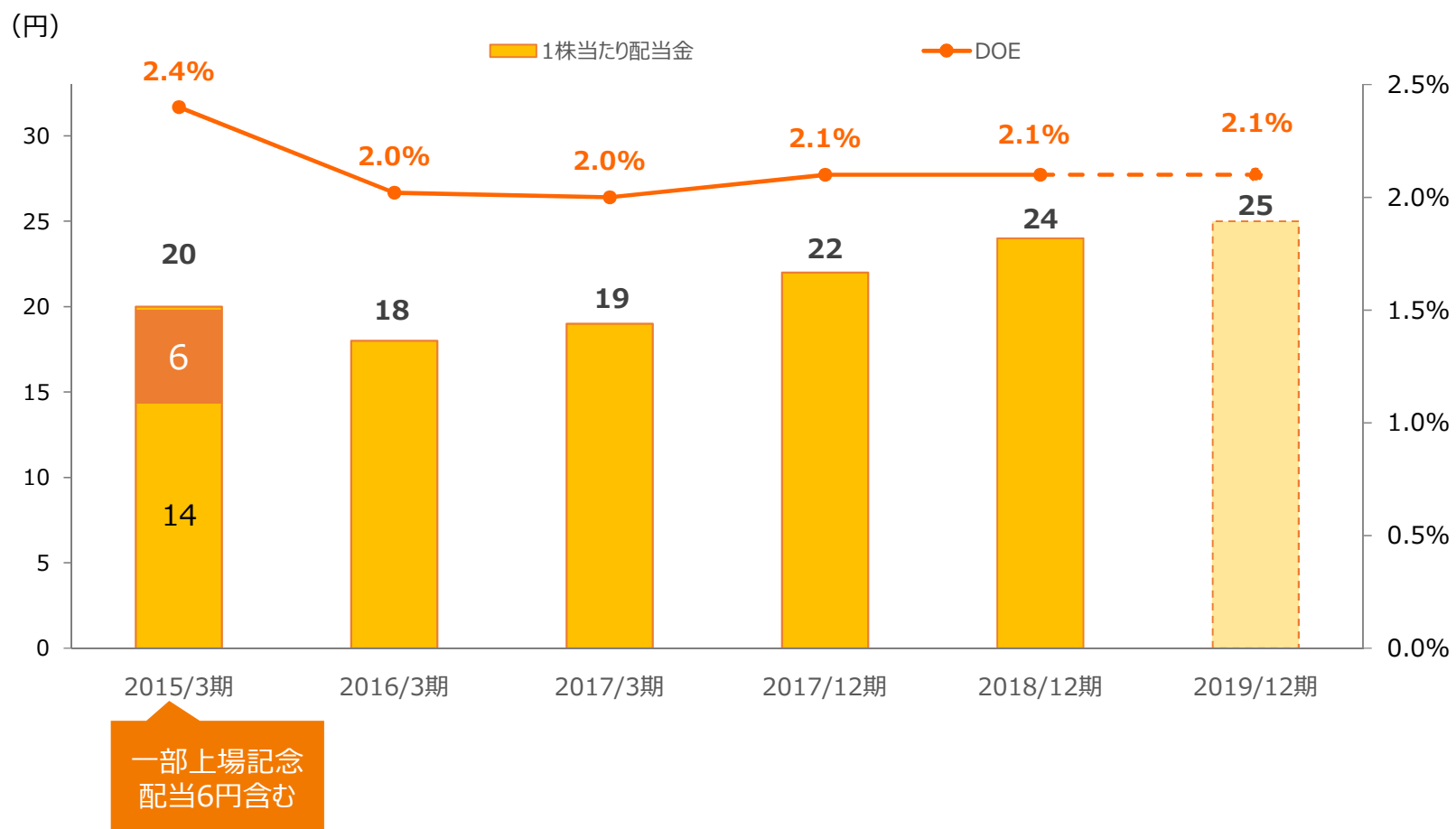
- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの外販は引き続き厳しい状況が見込まれる。

※業績予想の修正に伴い、セグメント別通期業績予想についても一部修正しております。

株主還元方針及び配当予想



- ✓ 配当方針：株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2019年12月期の年間配当は、25円の予定（中間12円、期末13円）



(参考資料)

【参考資料】国内外の拠点



- 本社
- 生産拠点
- 開発拠点
- 販売・サービス拠点

【参考資料】主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
10/16～18	ベトナム	ハノイ	MTA Hanoi	
10/16～23	ドイツ	デュッセルドルフ	K 2019 (国際プラスチック・ゴム産業展)	射出成形機 欧州にて初出展
10/23～26	日本	名古屋	MECT2019 (メカトロテックジャパン2019)	国内最大級の工作機械見本市
11/20～23	タイ	バンコク	METALEX THAILAND	
11/26～29	中国	深圳	DMP2019 (国際金型・金属加工、プラスチック・包装展)	
12/5～8	インドネシア	ジャカルタ	Machine Tool Indonesia 2019	
2020年				
3/10～13	ドイツ	デュッセルドルフ	METAV (International Exhibition for Metalworking Technologie)	
4/15～18	日本	大阪	INTERMOLD2020 大阪	
4/20～23	英国	バーミンガム	MACH 2020	
4/21～24	中国	上海	ChinaPlas 2020 (国際プラスチック・ゴム産業展)	
4/22～25	インド	ムンバイ	Die&Mold India International Exhibition	
5/13～16	タイ	バンコク	INTERMACH 2020	
5/18～22	中国	北京	CIMES (China International Machine Tools & Tools Exhibition)	
7/2～5	ベトナム	ホーチミン	MTA Vietnam 2020 (International Precision Engineering, Machine Tools and Metalworking Exhibition & Conference)	
9/14～19	USA	シカゴ	IMTS2020	世界最大級の工作機械展示会
10/6～10	日本	幕張	IPF Japan 2020 (国際プラスチックフェア)	射出成形機を出展
12/7～12	日本	東京	JIMTOF2020	世界最大級の工作機械展示会

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835